



2024年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月13日

上場会社名 株式会社グリーンズ 上場取引所 東 名
コード番号 6547 URL <https://www.kk-greens.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村木 雄哉
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 伊藤 浩也 TEL 059(351)5593
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第1四半期の連結業績（2023年7月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第1四半期	10,032	17.8	1,605	126.0	1,550	124.0	1,534	127.0
2023年6月期第1四半期	8,517	66.7	710	—	691	—	676	—

(注) 包括利益 2024年6月期第1四半期 1,545百万円 (128.7%) 2023年6月期第1四半期 675百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第1四半期	110.05	—
2023年6月期第1四半期	52.51	48.75

(注) 2024年6月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第1四半期	24,606	6,536	26.6
2023年6月期	23,786	5,367	22.6

(参考) 自己資本 2024年6月期第1四半期 6,536百万円 2023年6月期 5,367百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	9.00	9.00
2024年6月期	—	—	—	—	—
2024年6月期（予想）	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2024年6月期の連結業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	4.3	3,700	0.1	3,400	△2.6	3,300	△21.3	237.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、四半期決算短信（添付資料）7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期1Q	13,878,263株	2023年6月期	12,886,200株
② 期末自己株式数	2024年6月期1Q	9,764株	2023年6月期	9,742株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期1Q	13,394,042株	2023年6月期1Q	12,876,458株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（金額の表示単位の変更について）

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位をもって記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第1四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

(参考) 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年6月期	円 銭 0.00	円 銭 0.00	円 銭 0.00	円 銭 40,000.00	円 銭 40,000.00
2024年6月期	—	—	—	—	—
2024年6月期 (予想)	—	—	—	40,000.00	40,000.00

B種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年6月期	円 銭 0.00	円 銭 0.00	円 銭 0.00	円 銭 40,000.00	円 銭 40,000.00
2024年6月期	0.00	—	—	—	—
2024年6月期 (予想)	—	—	—	—	—

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第1四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	6
(第1四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7
3. 補足情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年7月1日から2023年9月30日まで)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症収束後、経済活動の正常化が一段と進む中で、景気が緩やかに回復しています。一方で長引くロシア・ウクライナ情勢による物価高への影響、世界的なインフレ抑制のための金融引き締めや中国経済の停滞等による世界経済への影響等には、依然として留意が必要です。

ホテル業界におきましては、2023年10月31日に観光庁が公表している最新の宿泊旅行統計調査(2023年8月第2次速報、2023年9月第1次速報)によりますと、2023年8月の延べ宿泊者数は6,102万人泊(前年同月比+30.2%、2019年同月比△3.5%)、9月は5,028万人泊(前年同月比+27.8%、2019年同月比+3.1%)と、前年を大幅に上回り、ほぼコロナ禍以前の水準に戻っております。

このような事業状況の下で、当社運営ホテルにおける月次の客室稼働率は、前年同月と同水準で推移いたしました。また客室単価は、各店舗地域の需要に応じたレベニューマネジメントの強化、レジャー需要を確実に獲得したことで順調に推移し、2023年8月度の客室単価は9,457円となり、2023年5月に達成した過去最高の客室単価9,042円を大幅に更新いたしました。なお、インバウンド需要はさらに回復することが期待され、引き続き国内外からの安定的な宿泊需要を見込んでおります。

当社グループにおいて宿泊特化型ホテルを中心に全国で展開している「チョイスブランド」では、2022年12月14日開業のコンフォートホテル四日市(三重県四日市市)の当第1四半期連結累計期間における売上高の貢献がありました。営業面においては、レジャー需要のさらなる獲得強化のため、チョイスブランドの体系を再構築し、2つの方向性の新ブランド運営を開始いたしました。2023年7月1日に、世界最大級の独立系ホテルコレクションブランドである「Ascend Hotel Collection™」としてhotel around TAKAYAMA(岐阜県高山市)の運営を開始いたしました。また、「コンフォートホテル」の派生ブランドとして新たに「コンフォートホテルERA」を創設し、2023年9月13日にコンフォートホテルERA京都東寺(京都府京都市)、2023年9月20日にコンフォートホテルERA神戸三宮(兵庫県神戸市)の2店舗を、それぞれリブランドにより開業いたしました。需要に応じたレベニューマネジメントの強化、及びレジャーやインバウンド需要獲得に向けた販促強化を図った結果、当事業の売上高は前年同期比21.8%増の8,371百万円となり、客室稼働率は前年同期比1.3ポイント減の81.1%、客室単価は前年同期比27.0%増の9,558円となりました。

三重県・東海地方を中心に地域特性に合わせて宴会場等を併設したシティホテルや宿泊特化型ホテルを展開している「オリジナルブランド」及び「その他事業」においては、宴会や会議利用の需要回復と並行して、中期経営計画において掲げるバンケット機能の高度化の一環として、調理課の体制整備、商品力の向上等を推進いたしました。営業面においては、堅調な設備工事やメンテナンス等のビジネス需要の取り込み、及び各店舗地域の顧客動向や需要の状況に合わせたレベニューマネジメントによる販促強化を図った結果、売上高は前年同期比1.0%増の1,661百万円となり、客室稼働率は前年同期比0.3ポイント増の75.4%、客室単価は前年同期比9.7%増の6,691円となりました。

なお、当社グループ全体の客室稼働率は前年同期比0.8ポイント減の80.0%、客室単価は前年同期比24.7%増の9,028円、ホテル軒数は97店舗、客室数はチョイスブランド11,580室、オリジナルブランド2,827室の合計14,407室となっております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高10,032百万円(前年同期比17.8%増)、営業利益1,605百万円(同126.0%増)、経常利益1,550百万円(同124.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,534百万円(同127.0%増)となりました。

(注) 1. 2023年7月1日付でhotel around TAKAYAMAが「Ascend Hotel Collection™」として運営を開始したことにより、「オリジナルブランド」から「チョイスブランド」に所属が変更となったため、ホテル軒数及び合計室数に変更はございませんが、ブランド別の客室数に変動がございます。

2. 文中記載の客室稼働率ならびに客室単価は、当第1四半期連結累計期間における数値となります。月別の数値に関しましては当社ホームページに掲載しております。

株式会社グリーンズ <https://www.kk-greens.jp/>

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産につきましては24,606百万円となり、前連結会計年度末23,786百万円に比べ、819百万円増加いたしました。

うち流動資産は、10,884百万円（前連結会計年度末9,992百万円）と、892百万円増加いたしました。これは主に売掛金の増加によるものであります。

固定資産は、13,721百万円（同13,794百万円）と、73百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産の減価償却によるものであります。

負債につきましては、18,069百万円（同18,419百万円）と、349百万円減少いたしました。

うち流動負債は7,343百万円（同7,467百万円）と、124百万円減少いたしました。これは主に未払金の減少によるものであります。

固定負債は10,726百万円（同10,951百万円）と、225百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少によるものであります。

純資産につきましては6,536百万円（同5,367百万円）と、1,169百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。この結果、自己資本比率は26.6%（前連結会計年度末は22.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の予想につきましては、前回発表の通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,727	6,997
売掛金	2,146	2,670
原材料及び貯蔵品	116	119
前払費用	961	1,054
その他	40	42
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	9,992	10,884
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,432	4,374
工具、器具及び備品（純額）	403	398
土地	1,828	1,828
リース資産（純額）	139	126
建設仮勘定	2	—
有形固定資産合計	6,806	6,727
無形固定資産	109	98
投資その他の資産		
投資有価証券	76	93
長期貸付金	8	5
差入保証金	5,638	5,649
その他	1,189	1,177
貸倒引当金	△33	△31
投資その他の資産合計	6,879	6,895
固定資産合計	13,794	13,721
資産合計	23,786	24,606

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,088	1,202
短期借入金	2,600	2,600
1年内返済予定の長期借入金	821	819
未払金	1,338	1,053
未払費用	708	704
未払法人税等	64	15
未払消費税等	523	385
賞与引当金	—	173
その他	321	389
流動負債合計	7,467	7,343
固定負債		
長期借入金	10,227	10,021
資産除去債務	549	550
その他	175	154
固定負債合計	10,951	10,726
負債合計	18,419	18,069
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	3,251	3,251
利益剰余金	2,021	3,179
自己株式	△8	△8
株主資本合計	5,363	6,522
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	14
その他の包括利益累計額合計	3	14
純資産合計	5,367	6,536
負債純資産合計	23,786	24,606

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
売上高	8,517	10,032
売上原価	6,452	6,558
売上総利益	2,064	3,474
販売費及び一般管理費	1,354	1,868
営業利益	710	1,605
営業外収益		
受取手数料	1	3
違約金収入	6	6
助成金収入	10	1
協賛金収入	-	3
その他	3	0
営業外収益合計	21	15
営業外費用		
支払利息	24	70
支払補償費	15	-
その他	0	0
営業外費用合計	40	71
経常利益	691	1,550
特別利益		
固定資産売却益	-	0
特別利益合計	-	0
税金等調整前四半期純利益	691	1,550
法人税等	15	15
四半期純利益	676	1,534
親会社株主に帰属する四半期純利益	676	1,534

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	676	1,534
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	10
その他の包括利益合計	△0	10
四半期包括利益	675	1,545
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	675	1,545

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じた金額に、繰延税金資産の回収可能性を考慮しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、ホテル事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

1. 当社は、2023年10月13日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき自己株式（2021年10月19日に第三者割当の方法で発行したB種優先株式）を以下のとおり消却することを決議し、消却いたしました。
 - (1) 消却した株式の種類
B種優先株式
 - (2) 消却した株式の総数
500株
 - (3) 消却日
2023年10月13日

2. 当社は、2023年10月24日開催の取締役会において、以下のとおり、ホテル出店に関する停止条件付定期建物等賃貸借契約に係る基本合意書を締結することを決議いたしました。
 - (1) 出店理由
当社は、2022年8月発表の中期経営計画における重点戦略に「着実な新店開発の実施」を掲げ、事業の強化・拡大に取り組んでおります。本出店は、その一環として長野県塩尻市等の既存ホテル22物件を賃借することによってホテル出店を行うものであります。
 - (2) 出店するホテル物件の内容（リースにより賃借する資産の内容）

①資産の内容	ホテル用土地建物
②物件数	22物件
③所在地	長野県塩尻市 他
④建物概要	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建、鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき平家建 他
⑤契約期間	10年
⑥リース料の総額	5,557百万円
⑦ブランド	コンフォートインを予定
 - (3) 相手先の概要

①名 称	星野リゾート・リート投資法人
②所在地	東京都中央区京橋三丁目6番18号
③代表者の役職・氏名	執行役員 秋本 憲二
④事業内容	投資信託及び投資法人に関する法律に基づく不動産投資業
⑤出資総額	123,843百万円（2023年4月30日時点）
⑥設立年月日	2013年3月6日
⑦純資産	126,215百万円（2023年4月30日時点）
⑧総資産	208,555百万円（2023年4月30日時点）

3. 補足情報

生産、受注及び販売の実績

(1) 生産実績

該当事項はありません。

(2) 受注実績

該当事項はありません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結会計期間の販売実績は次のとおりであります。なお、当社グループはホテル事業の単一セグメントであるため、ブランド別に記載しております。

事業部門の名称	当第1四半期連結会計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	前年同期比 (%)
チョイスブランド (百万円)	8,371	121.8
オリジナルブランド及びその他の事業 (百万円)	1,661	101.0
合 計 (百万円)	10,032	117.8

- (注) 1. 事業部門間の取引については相殺消去しております。
2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、当該割合が100分の10以上の相手先がないため、記載を省略しております。